

NEWS 23 反訳 (丙第79号証)

アナウンサー

「では次です。NEWS 23 が継続してお伝えしている子宮頸がん予防ワクチンをめぐ  
る動きです。

番組では、ワクチンを接種した少女たちの記憶力などが低下する症状について取り上  
げてきましたが、国の研究班が今日、脳の障害に関する新たな研究結果を発表しました。」

ナレーター

「利き手だった右手がうまく動かさなくなってから5年が経とうとしている。

酒井七海さん 21歳。」

ナレーター

「足が思うように動かさず、車いすを使う生活が当たり前のようになった。

こうした症状を発症したのは、子宮頸がんワクチンを接種してからだ。

日本でこれまで接種した338万人のうち、副反応の報告があったのは2584人。

2年前、酒井さんは別の病院に通院していた。現在はまた違う病院に。今回は22回  
目の入院となる。」

酒井七海さん

「足をまっすぐまでやるとやっぱりこう足が、ちょっと震えがまだ…震えるのがまだ残  
ってて、でもこういうのをこう…」

ナレーター

「目に見える症状のほかに、今深刻なのは記憶の障害だ。」

七海さん母親

「予定とかを忘れちゃうので」

酒井七海さん

「やったことを常にスマホに記録してて、こういう感じで…今だと11時40分にいら  
っしゃった、何時に来たとかって書いて、とりあえずここに書いておいて、夜まとめて  
このノートに今日何時に何をしたっていうのを書いたりして…」

ナレーター

「これまで国の検討部会は、こうした症状を少女たちの心身の反応としてきた。そうしたなか、今日厚生労働省で国の研究班の一つが新たな研究成果を発表した。

研究班の代表を務める池田修一信州大学医学部長。この1年間全国の患者およそ140人の研究を進めてきた。そこでわかってきたのが記憶力の低下などを訴える患者の傾向だ。」

池田修一医学部長

「えー情報の処理速度ですね、処理速度だけが極端に落ちている。正常の6割くらいまで落ちちゃっている。」

ナレーター

「少女たちに何が起きているのか。

実験用の特別なマウスを使って分析が行われた。マウスにそれぞれ「子宮頸がんワクチン サーバリックス」「インフルエンザワクチン」「B型肝炎ワクチン」を打ったところ、子宮頸がんワクチンを打ったマウスにだけ、脳に異常が発生していることがわかったという。」

池田修一医学部長

「子宮頸がんワクチンを打ったマウスだけ、どうも脳ですね、えー海馬とって、記憶の中核があるところに、異常な抗体が沈着して、海馬の機能を障害していそうだ。」

ナレーター

「これが脳の画像データだ。子宮頸がんワクチンだけ緑色に光る異常な抗体が出ている。」

池田修一医学部長

「これは明らかに脳に障害が起こっているということですね。ワクチンを打った後こういう脳障害を訴えている患者さんの共通した客観的所見がこうじゃないですかということを提示できている」

ナレーター

「異常が見つかったのは脳だけではない。

これは子宮頸がんワクチンを打ったマウスの足の裏にある神経の束を撮影したものだ。正常な神経はこのように黒く太いバンドで取り囲まれている。しかしマウスから見つかったのは、この異常がある神経。正常のものと比較すると、この黒いバンドの部分が壊れて亀裂が入り、膨らんでいるのがわかる。」

池田修一医学部長

「この神経は、情報が正確に早く伝わっていかないというふうに考えられますね。」

ナレーター

「こうしたマウスの異常は、ワクチンを打ってから9カ月くらいで現れたという。さらに研究班は特定の遺伝子にも注目している。記憶の障害を訴える33人の患者を調べたところ、そのおよそ8割で同じ型を保有していることがわかった。」

池田修一医学部長

「中国とか日本を含めた、東アジアの人には多いんですね。子宮頸がんワクチンのですね、副反応がですね、えまあ日本で、えーよりこうクローズアップされたというような遺伝的背景の一つの原因かもしれないと考えています。」

ナレーター

「国の研究班は今後、今回マウスなどで見られた異常とワクチンの成分との関係について、本格的な分析を進める予定だ。」

アナウンサー

「はい、えー、子宮頸がんワクチンについては去年の12月にWHO世界保健機関が「接種のリスクがあったとしてもとても小さく、効果の方が高い」と、安全性を訴える声明を出しています。えーただ、心身の反応とされてきた少女たちの様々な症状についても一歩一歩研究が進んでいますよね。」

NEWS 23のコメンテーター

「そうですね、今回のマウスの脳に異常が出たというのは、やっぱり注目しなきゃならない結果なんだと思うんですよね。これでワクチンの推奨を再開すれば、今後日本の少女たち、何百万人の人たちにかかわってくる問題ではあるんですよね。因果関係について、日本の医療界、知見をとにかく集めて、慎重かつ徹底的な検証をお願いしたいなと思います。」